

第13回荒川区環境区民大賞受賞作品

総計596件の応募の中から、外部委員を含めた選考審査会において厳正な審査の結果、下記54名4団体の方が受賞されました。

環境活動部門



環境美術

活動内容 アートワークショップ
みんなで壁画を描こう

- 「荒川区の環境を良くしたい」という思いから、生涯学習センターのピロティ（体育館下）に「みどり」をテーマにした絵を描いています。
- 壁画の作成にあたり、アートワークショップを開催し、地域の方々と協力しながら取り組んだ点などが高く評価されました。



あごっく工房

活動内容 あらかわごきげんよう
つなぐくらし工房

- SDGsにこだわり、もくねんさん（おがくず粘土）の型作りや、破棄する前のバナナの皮を使って石鹸や紙スキを作っています。
- バナナの皮のほかにも牛乳パックや広告などを再利用し、額縁を作るなど創意工夫している点が高く評価されました。



夕やけこやけふれあい館

活動内容 みんなでつながろう
プロジェクト

- SDGsへの意識を高め、自ら行動する喜びを知ってもらいたいという思いから、ペットボトルキャップの回収を行い、地域の小中高生と協働で作品を制作しました。
- 作品の制作に携わった方だけではなく、施設利用者への環境意識啓発にもつながった点が高く評価されました。



メッセ南千住店

活動内容 ピリカ投稿・汐入祭り清掃協力

ライオンズマンション 町屋第3節電対策委員会

活動内容 マンション共用照明灯の節電対策

篠崎 薫子

活動内容 消し忘れを探せ「節電チャレンジカップ」

岡安 祐子

活動内容 太陽光を活用しよう！



こどもエコ部門

※学校名、学年表記は応募時（令和5年度）で掲載

低学年の部



第七峡田小学校3年
岸 葉那さん



アイデア内容 日ざしにとけるたばこ

- ぼい捨てされたたばこが日差しにあると溶けてなくなるアイデアです。たばこのフィルムにぼい捨てされたたばこを溶かす薬が入っています。
- たばこのぼい捨てをやめてほしいという思いから生まれたユニークな発想が評価されました。



尾久西小学校3年
鈴木 日茉莉さん

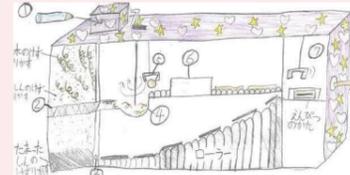


アイデア内容 いらぬ雪やあつさで電気をつくる
ビリビリロボット

- 夏の暑さや冬の雪をロボットが電気に変換し、余分な暑さを冬のために溜め、雪は水にして植物にあげることができます。
- 暑さや雪といった気候を利用した画期的なアイデアが評価されました。



第四峡田小学校2年
吉田 菜由さん



アイデア内容 えんぴつけずりのえんぴつこうじょう

- 削った鉛筆の芯がもったいないという思いから生まれたアイデアです。工場では、削った鉛筆の芯や木材を再度鉛筆に戻すことができます。
- 削った鉛筆の屑を再利用するという環境にやさしいアイデアが評価されました。



第七峡田小学校3年
小山 かなたさん



アイデア内容 ざんぱんでん気へんかんき

- 残った食品がもったいないという思いから生まれたアイデアです。ざんぱんを機械にいれると、電気に変換してくれます。
- 残った食品を利用するため、食品ロスの対策にもつながる画期的なアイデアが高く評価されました。



汐入小学校3年 張 祈駿さん 「ごみ分つき」で、ごみをへらそう！
第三瑞光小学校3年 篠崎 斗瑠さん 校いで電気をためるびりびりそうち
第九峡田小学校3年 韓 沅書さん 本や紙を作るロボット

高学年の部



峡田小学校6年
荻原 蒼祐さん



アイデア内容 光合成を活用した植物発電

- 地球温暖化の原因となるCO₂を排出する火力発電に代わって、二酸化炭素の排出が少ない植物を活用した発電方法です。植物が光合成をするときにでるエネルギーを活用して発電します。
- 二酸化炭素を出さずに発電できるという環境にやさしいアイデアが高く評価されました。



第三瑞光小学校5年
宮下 夏帆さん



アイデア内容 電気をつくるランドセル

- 簡単に電気をつくることはできないかという疑問から生まれたアイデアです。ランドセルに太陽光パネルをつけることで、登下校中に電気を作ります。
- 身近なものであるランドセルに着目した、普段の生活の中でもエコな生活に取り組みする画期的なアイデアが高く評価されました。



第七峡田小学校5年
中村 和奏さん



アイデア内容 ミニミニダム

- 雨水を溜めて家庭用水や電気を作る仕組みです。内部で雨水をろ過し、水流を利用することでプロペラを回して発電します。
- 家に小さいダムを作ることで、水と電気の使用量を減らすことができるという環境にやさしいアイデアが高く評価されました。



第五峡田小学校6年
豊川 想さん



アイデア内容 CO₂発電・排ガス発電

- ニュースで見た合成燃料から着想を得たアイデアです。地中にある吸収装置が、車やエアコンなどが排出したCO₂を吸い込み、電気として利用できるように変換します。
- CO₂を利用してエネルギーを節約したいという思いから生まれた画期的なアイデアが高く評価されました。



峡田小学校6年 雷田 真有さん ポッピングアンブレラ
ひぐらし小学校5年 アラム ジャデイドさん 太陽光を集めるうちゅうロボ
赤土小学校5年 矢野 結也さん ソーラーランドセル